

利用申込者実態調査報告書

令和5年11月6日

【基準日：令和5年6月1日】

〈四万十市〉

目次

I	調査の概要	…	1
1	調査の目的	…	1
2	調査方法等	…	1
3	回収結果	…	1
II	調査結果の分析	…	2
1	待機者数及び待機場所	…	2
(1)	利用待機者の有無	…	2
(2)	サービス別の待機者数及び待機場所	…	2
(3)	待機場所（他の介護施設）について	…	3
III	調査結果のまとめと考察	…	4
1	調査結果のまとめ	…	4
2	考察	…	4

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする「四万十市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定にあたり、入所・入居系サービスの利用申込者の実態を把握し、地域密着型サービスの整備及び高齢者の住まいの確保の検討に係る基礎資料とするために実施したものです。

2 調査方法等

(1) 調査対象者

四万十市内の住宅型有料老人ホーム、(介護予防)認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護(地域密着型含む)、介護老人保健施設、介護医療院、介護老人福祉施設(地域密着型含む)を対象に実施。

(2) 調査方法

調査対象サービス事業所に対し調査票を送付し、回答済み調査票の返送を受ける方法で実施した。

(3) 調査基準日

令和5年6月1日

3 回収結果

19事業所

※内訳：住宅型有料老人ホーム 1事業所

軽費老人ホーム 1事業所

(介護予防)認知症対応型共同生活介護 9事業所

特定施設入居者生活介護(地域密着型含む) 3事業所

介護老人保健施設 2事業所

介護医療院 4事業所

介護老人福祉施設(地域密着型含む) 3事業所

Ⅱ 調査結果の分析

1 待機者数及び待機場所

(1) 利用待機者の有無及び待機者数

四万十市内の施設・居住系サービス事業所の、令和5年6月1日時点の利用待機者の有無を集計したところ、「介護医療院」や「介護老人保健施設」など、医療系の施設において「待機者無し」となっていることが多くなっています。

また、名寄せ後、死亡者を除いた後の待機者数は特定施設入居者生活介護で最も多くなっており、次に介護老人福祉施設（地域密着型含む）となっています。全サービス種別を合計すると、278人となっています。

さらに、ここから緊急性が高いものを抜き出すと、待機者数は27名となり、緊急性は高いものの、早めに申し込んでいる方がかなりの数いることが推測されます。なお、この27名の内9名はすでに別の施設に入所しており、どこにも入所していない方は18名となります。さらにこの18名の内9名は西土佐地域の施設に入所申し込みをしている方となっています。

表 1-1 待機者の有無及び待機者数（サービス別）

申し込み先サービス種別	総事業所数	待機者有り	待機者無し	名寄せ後、死亡者(※1、2)除いた後の待機者数(人)	
					うち、緊急性が高い者(※3)
住宅型有料老人ホーム	1	1	0	5	0
軽費老人ホーム	1	1	0	7	0
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	9	9	0	35.5	3
特定施設入居者生活介護(地域密着型含む)	3	3	0	130.5	8
介護老人保健施設	2	0	2	0	0
介護医療院	4	1	3	3.5	0
介護老人福祉施設(地域密着型含む)	3	3	0	96.5	16
計	23	18	5	278	27

※1 死亡者は、四万十市の被保険者のみ除いた。

※2 複数のサービス種別の施設等に申し込みを行っている場合、名寄せ時に按分を行った。

※3 緊急性が不明なものは含めていない。

(2) サービス別の待機場所

次に、申込者の待機場所から、緊急度が低い方の今後の入所・入居状況について検討します。

待機場所を確認すると、約43%がほかの施設等に入所しながら、施設への入所を待機して

いることがわかります。すでに施設に入所されている方が同じ種別の施設に移る場合は、サービス種別全体の利用者数は変わらないことや、居所変更実態調査結果では介護医療院や介護老人福祉施設から退去される方のうち半分程度は死亡退去となっていることを踏まえると、ほかの施設等に入所しながら、施設への入所を待機している方は、必ずしも今後の新規入所・入居者になるわけではないと予測されます。

表 1-2 申込者の待機場所（サービス別）※四万十市の被保険者のみ抜粋

申し込み先サービス種別	待機場所							計
	住宅型有料老人ホーム	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	特定施設入居者生活介護(地域密着型含む)	介護老人保健施設	介護医療院	介護老人福祉施設(地域密着型含む)	その他	
住宅型有料老人ホーム	0	0	0	0	0	0	4	4
軽費老人ホーム	1	0	0	0	0	0	6	7
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	2	5.5	1.5	3.5	7	0.5	15.5	35.5
特定施設入居者生活介護(地域密着型含む)	1	1.5	5	3	0.5	0	36	47
介護医療院	0	0	0	0	0	0	1.5	1.5
介護老人福祉施設(地域密着型含む)	3	8	7.5	9.5	15.5	4.5	29	77
計	7	15	14	16	23	5	92	172

Ⅲ 調査結果のまとめと考察

1 調査結果のまとめ

- 入所・入居系施設の待機者は 278 人であるが、そのうち緊急度が高いのは 27 名である（2 ページ）
- 待機者の内半数弱はすでにほかの施設に入所・入居しており、待機者のうちすべてが新規入所・入居者となるわけではない。

2 考察

待機者の緊急度や待機場所を確認すると、必ずしも施設サービスが不足しているとはいえ、入所・入居系施設の整備は慎重に検討する必要があります。